

2022年4月21日

日本銀行帯広事務所

## 十勝の金融経済概況

### 1. 全体感

十勝の景気は、弱い動きとなっている。

すなわち、公共投資は、幾分減少している。設備投資は、高水準で推移している。住宅投資は、横這いとなっている。個人消費は、弱い動きとなっている。生産は、回復している。雇用情勢をみると、労働需給は、引き締まりつつある。

この間、企業の業況感は、悪化している。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症や国際商品市況の動向が管内の経済活動全般に及ぼす影響を注視していく。

### 2. 最終需要の動向

公共投資は、幾分減少している。

公共工事請負金額は、前年をやや下回った。

設備投資は、高水準で推移している。

主要企業の21年度および22年度の設備投資は、新型コロナウイルス感染症の影響から慎重な投資計画となっている先がみられるものの、一部先で需要獲得を企図した戦略投資がみられ、全体では前年を上回る計画となっている。

ただし、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響などを背景とする不確実性が高いことから、今後の投資実行状況を注視していく必要がある。

住宅投資は、横這いとなっている。

新設住宅着工戸数は、持家が前年を下回る一方、貸家が前年を上回り、全体では前年を上回った。

個人消費は、弱い動きとなっている。

主要小売店の売上高は、内食需要から堅調となっている。

耐久消費財をみると、自動車販売（乗用車新車登録届出台数）は、普通・小型乗用車、軽乗用車ともに前年を下回り、全体では前年を下回った。家電販売は、弱い動きとなっている。

旅行・観光関連をみると、市内ホテルの宿泊人数、主要温泉地の宿泊人数は、弱含んでいるほか、とちぎ帯広空港の乗降客数は、低調に推移しているとみられる。

### 3. 生産・雇用・企業倒産の動向

生産は、回復している。

生乳生産量は、増加しているほか、乳製品生産量は、生乳生産量の増加を背景に、高水準で推移している。

製材品生産量は、持ち直している。

雇用情勢をみると、労働需給は、引き締まりつつある。

有効求人倍率（常用）は、前年を上回った。

企業倒産は、総じて低水準で推移している。

3月の企業倒産（負債額10百万円以上）は、倒産件数、負債総額ともに前年を下回った。

### 4. 金融情勢

預金残高は、個人預金の増加から前年を上回っている。

貸出残高は、概ね前年並みとなっている。

貸出約定平均金利は、既往ボトムの水準で推移している。

以 上